

サメガレイ

生態的特徴等

【生態】日本では主に北海道沿岸や東北太平洋沿岸の水深 150～1,000m に生息する。2～3 歳で成熟し、産卵期は 1～2 月で、水深 500～1,000m に親魚が集群し産卵すると考えられている。最大全長は雄で約 40cm、雌で約 50cm。主にクモヒトデを食べ、それ以外の餌生物は胃内容物にほぼ出現しないことが知られる。

【漁法と盛漁期】主に底曳網で漁獲され、県内では冬季に漁獲される。平潟、大津、久慈漁港などで水揚げが多い。

【利用】刺身や焼き魚、煮付け等で利用される。市場では「かわむき」と呼ばれ、サメハダのような皮を剥がすのに苦労するが、身には脂がのって美味。

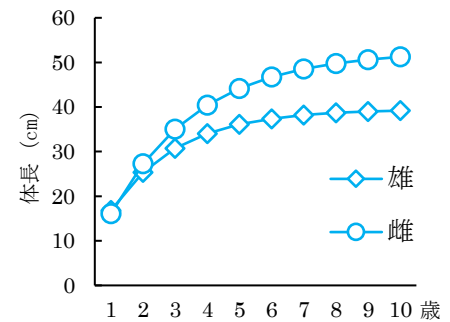


図1 サメガレイの成長

資源水準は高位、動向は増加傾向

(漁獲量) H7～H25 年までは5ト未満の漁獲量で推移したが、その後増減を繰り返しつつも増加傾向を示し、R7年は29トと、H4年以降で最高となる漁獲量を記録した(図2)。

(水準と動向) 資源水準は、過去の底曳網(沖底および小底5t以上)の漁獲量から計算したCPUE(kg/隻・日)の推移から「高位」、動向は、直近5年間のCPUEの傾向から「増加」とした(図3)。

水 準



動 向

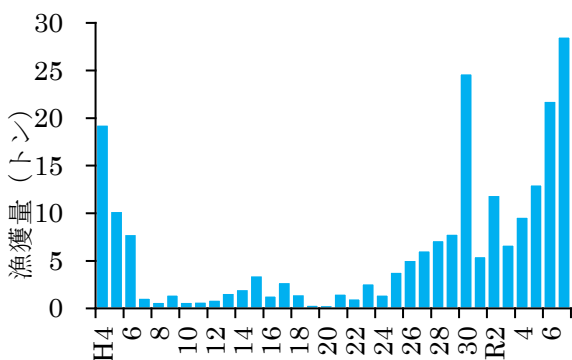


図2 サメガレイの漁獲量(水試システム 属地集計)

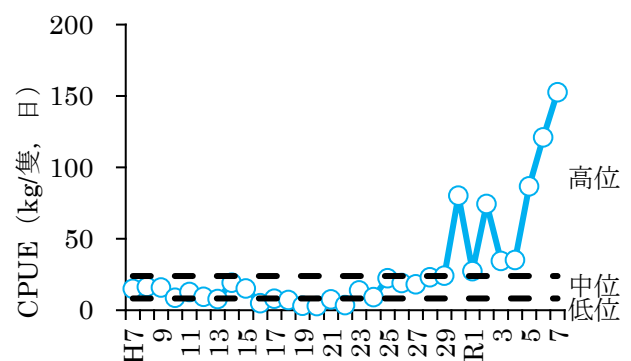


図3 サメガレイのCPUE(底曳網)

【全国の漁獲動向】

茨城県以外の主な産地は宮城県など。

評価期間：令和7年1月～12月 更新日：令和8年7月8日

引用：鈴木勇人・藤原邦浩・富樫博幸・森川英祐・時岡 駿・下光利明・永尾次郎(2026) 令和7(2025)年度サメガレイ太平洋北部の資源評価。我が国周辺水域の漁業資源評価。水産庁・水産研究・教育機構、東京、42pp, https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2026/03/details_2025_64.pdf

稲川 亮・服部 努・渡邊一仁・成松庸二・伊藤正木(2012) 東北地方太平洋沖におけるサメガレイの成長様式および漁獲物の年齢構成。日本水産学会誌, 78(6), 1118-1126.